測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2021/01

Ver3.4.7 で追加、修正された機能を説明します。

・杭打ち、1 視準 2 読定の確定測量
・GeoCOM　”なし”で 2 回測距の BS を修正

1、杭打ち、1 視準 2 読定の確定測量

要望がありましたので、追加しました。

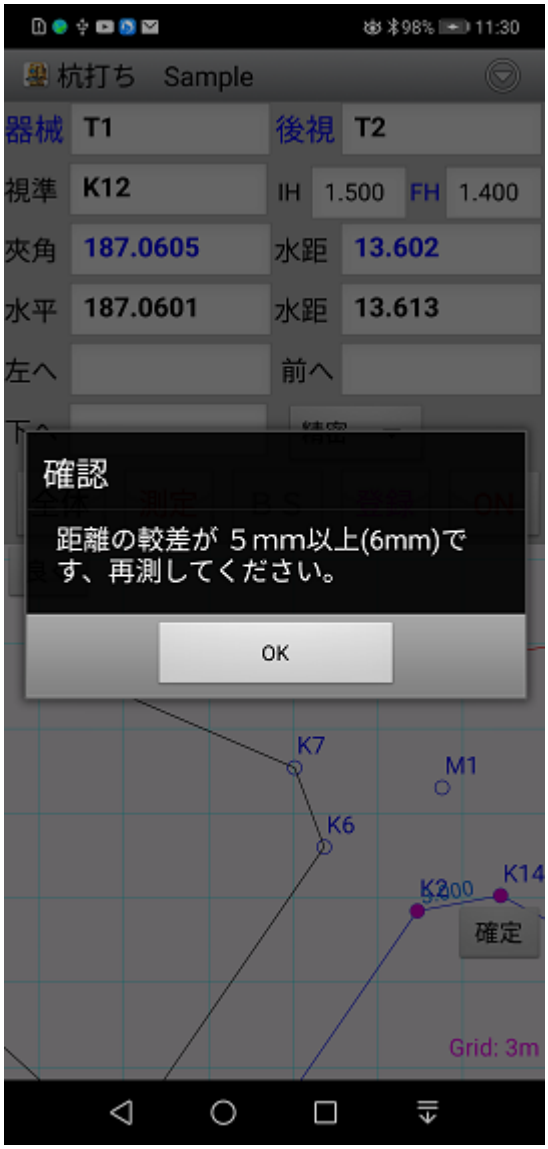
杭打ち終了後に、確定の為に再度杭打ち点を測定します。
この時、1 視準 2 読定しますが、杭打ちでは、出来ません。
現在は「杭打ち」から、「放射トラバース」に切り替えて測定、登録する方法になります。
この時、登録点名をキー入力する必要があります。
この点名の入力が、手間なので何とか杭打ちで、1 視準 2 読定し登録できないかという要望です。
杭打ちなら、杭打ち条件で前か後ろに、文字を追加して登録点名とする機能があります。
「放射トラバース」に切り替える操作と、この点名を自動で作成する機能を
実現する為には、「杭打ち」の中で測定するしかありません。
やはり、ここはマルチボタンに頼るしかありませんでした。

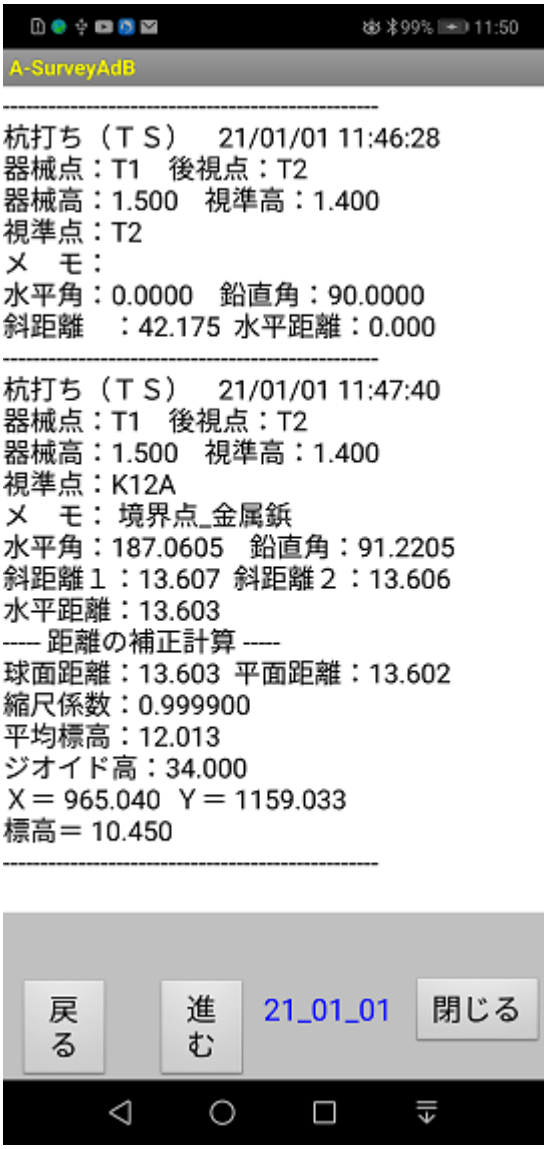
という事で、マルチボタンに「59,確定/杭打ち」を追加しました。
配置は、「杭打ち」画面で行ってください。
機能を選択し、“□杭打ち“にチェックを付けてください。

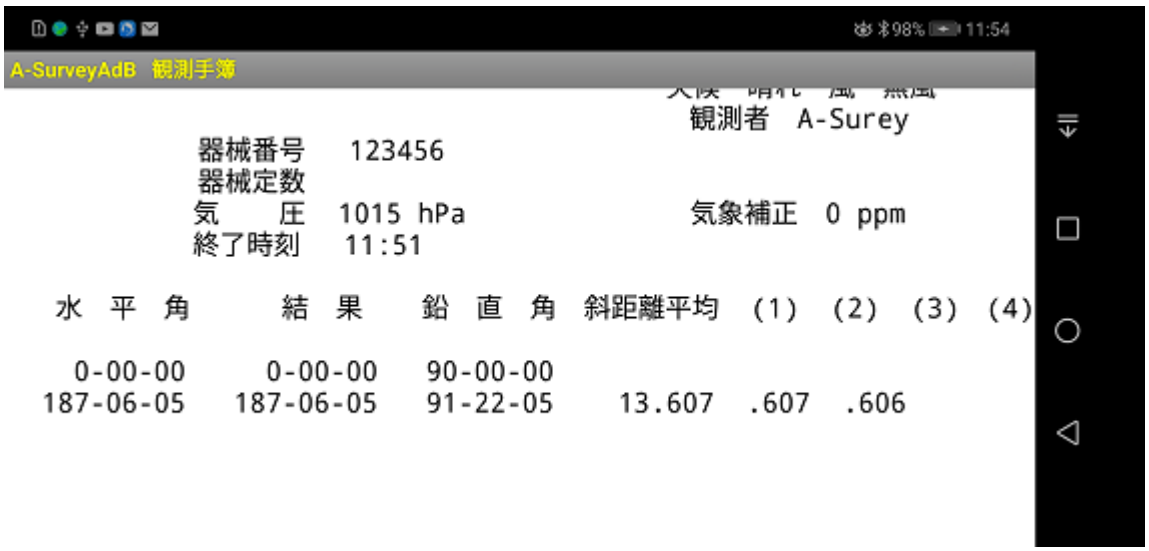
このボタンを押すと、「TS 条件」の測距回数に関係なく 1 視準 2 読定します。
直ちに測定を開始し 1 視準 2 読定し、登録まで完了します。
同時に、APA、記録簿に保存されます。
「観測条件」の“距離の較差をチェック 5mm”が有効です。
5mm を超えている場合は、メッセージを出して登録を中止します。

「杭打ち」の画面で、マルチボタンに設定してください。
□杭打ちにチェックを付けてください。
サイズ、名称は自由に変更できます。

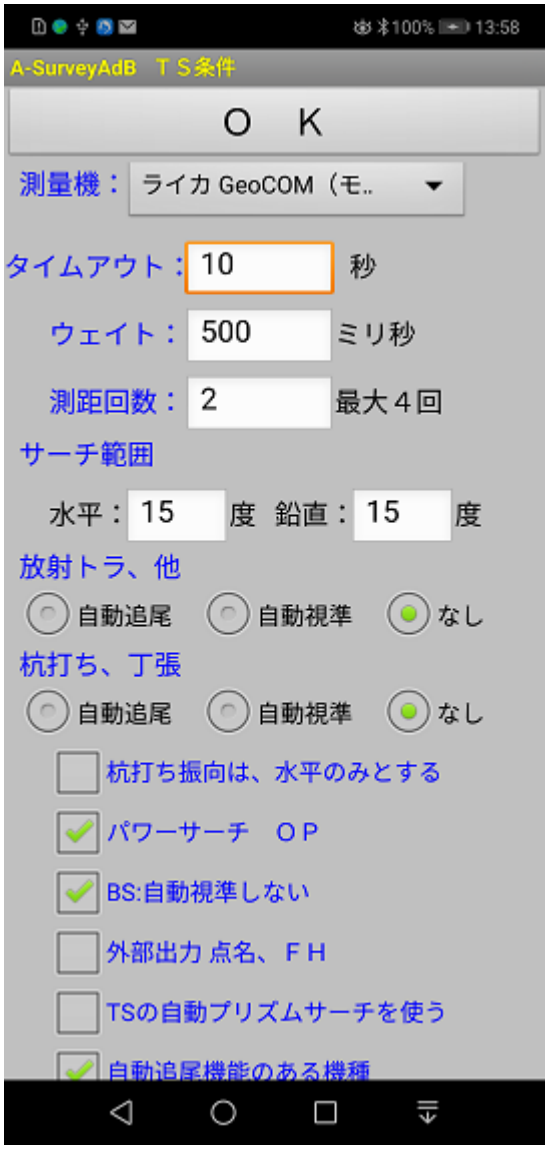
記録簿にも、２つの斜距離が表示されます。







２、GeoCOM　”なし”で２回測距の BS を修正

不具合の修正です。
下記のように、“なし”を選択。
測距回数を、２として、「BS」(HVS 標準で後視観測)した場合に「放射トラバース」で後視観測が完了しませんでした。

“なし”、１回の設定や
“自動視準”、２回などは問題ありませんでした。